

にゅう ぜん まち

**入善町**

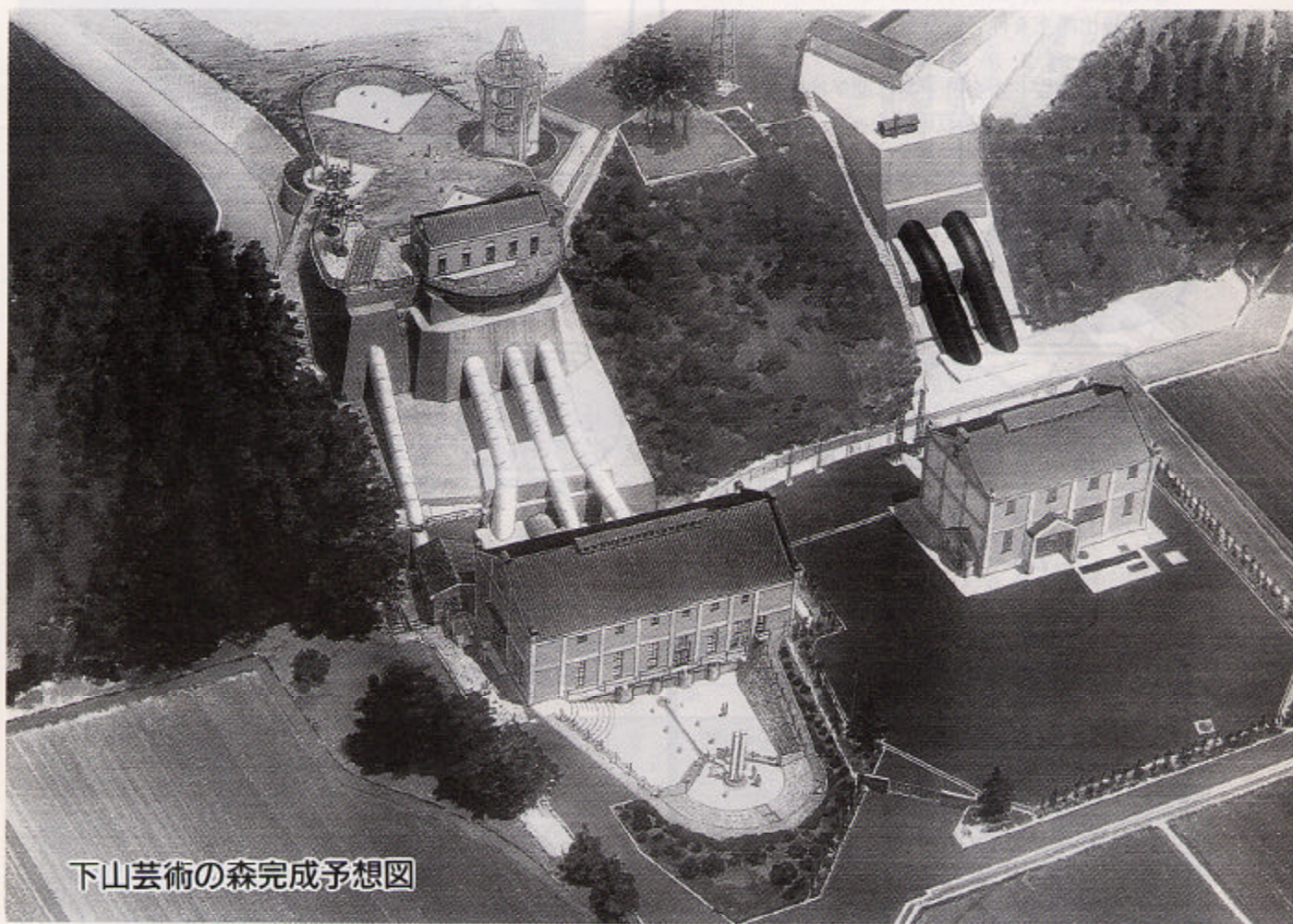
**議会だより**

No.88号

平成6年5月27日

発行 入善町議会

編集/入善町議会だより編集委員会  
富山県下新川郡入善町入膳3,255  
TEL 0765 (72) 1100  
FAX 0765 (74) 0067



下山芸術の森完成予想図

平成6年度予算総額

◆ 149億5,865万円 ◆

21世紀に向けた  
笑顔があふれる健康の  
まちづくりのために



水キラキラ 町いきいき 入善

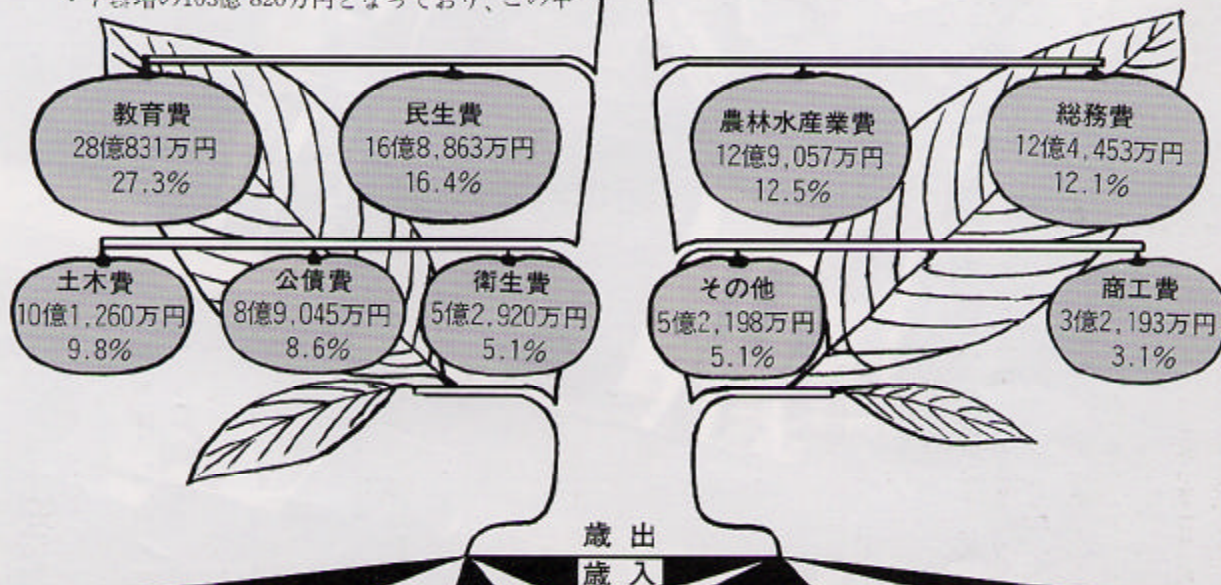
# 平成6年度 一般会計予算 103億820万円 スタート

3月定例会は9日から23日までの15日間の会期で開催され、議案29件、請願3件、陳情5件、議員提出議案6件、同意案3件について審議した。

平成6年度一般会計予算は前年度に比べて11.7%増の103億820万円となっており、この中

には5年度からの継続事業であるひばり野小学校建設事業8億7,144万円、下山芸術の森整備事業2億3,985万円などが充てられる。

また、特別会計も、46億5,045万円となり、4.6%の伸びとなった。



自主財源 43.9%				依存財源 56.1%			
町	繰入金	負担金及び	諸収入等	その他	町債	国・県支出金	地方交付税
27億2535万円	9億8055万円	3億633万円	5億7699万円	3億8460万円	13億9020万円	16億9418万円	22億5000万円

特別会計予算総額	
46億 5,045万円	
○国民健康保険	17億 913万円
○老人保健医療	28億 5,670万円
○簡易水道	3,050万円
○育英奨学資金	322万円
○分壊宅地	5,090万円

一般会計予算総額	
103億 820万円	
前年度対比 11.7%増	
一人当りの税負担額	約 9万円
一人当りの歳出予算額	約 35万円
一世帯当りの税負担額	約 34万円
一世帯当りの歳出予算額	約 130万円
町人口	29,645人
世帯数	7,958戸 (平成6年4月1日現在)

# 県内町村

## 初の女性係新設

※平成五年度一般会計補正予算 (第四号)

三億七千六百三十三万三千円を追加し、平成五年度一般会計予算総額を百七億四千七百五十三万六千円とした。

この中には中央通り線整備促進事業費一千六百二十五万五千円などがあり、これらの財源については国の第三次補正及び中央通り線事業負担金などが充てられる。

※平成五年度国民健康保険特別会計補正予算 (第二号)

二千五百万九千円を追加し、総額を十六億七千二百八十六万三千円とした。

※平成五年度老人保健医療特別会計補正予算 (第二号)

二十六万円を追加し総額二十七億四千四百九万三千円とした。

※平成五年度育英奨学資金特別会計補正予算 (第一号)

九百九十一万九千円を追加し、総額を一千三百六十四万四千円とした。

※富山県市町村会館管理組合規約の変更について



▲企画財政課内に女性係新設

各団体の電算化に伴い事務改善や情報処理が必要となったが、建物の老朽化が進み新会館建設及び維持管理等に関連して規約の変更が必要となる。

※町職員定数条例の一部改正

女性係の新設、学芸員及びスポーツ専門職員等の配置のための改正

※政治倫理の確立のための入善町長の資産等の公開に関する条例の制定

国会議員の資産等の公開等に関する法律に基づき、必要な事項を定める。

※町職員の勤務時間に関する条例の一部改正

労働基準法の改正により法定労働時間が四十八時間四十分を週四十時間とした。

※町職員等の旅費に関する条例の一部改正

在勤地内における車賃支給を明確化するとともに、法律に準じて車賃を1km当たり三十円を三十七円にした。

※平成六年度分固定資産税の納期の特例に関する条例の制定

六年度は、固定資産の評価の基準年度であるため地方税法の定めにより納期を五月一日から五月三十一日にした。

※昭和六十年分固定資産税の納期の特例に関する条例の廃止

地方税法の定めにより法定納期限の時効のため廃止した。

※墓地公園管理基金条例の制定

墓地公園管理料の取扱を明確にし、墓地公園管理事務の健全化を図るため基金を設置する。

※国民健康保険事業基金条例の制定

国民健康保険事業の健全な財政運営に資するため基金を設置する。

※簡易水道基金条例の制定

簡易水道事業の健全な管理運営に資するため基金を設置する。

※山本育英奨学基金条例の制定

山本育英奨学資金の貸与により、優秀かつ有用な人材の育成を図り教育振興に寄与するため基金を設置する。

※保育所条例の一部改正

定数の充足率を90%から80%に改正する。

東部保育所 百名から九十名  
西部 " 九十名から八十名  
青木 " 七十名から六十名  
新屋 " 九十名から八十名  
計四十名減

※幼児医療費の助成に関する条例の制定

幼児の医療費の一部を保護者に助成し出産や育児等の生活の安定を図り、子供が健やかに生まれ育つための環境づくりに資する事を目的として条例を制定した。(幼児とは、一歳以上二歳未満の者)

※町民会館条例の一部改正

中央公民館の管理運営を改善

町文化振興財団に委託するため改正する。

※公民館使用料条例の制定

小摺戸公民館の建設を機会に使用料条例を一本化するため制定した。

※中央公民館使用料条例の廃止

公民館使用料条例に組み入れるため廃止した。

※町営住宅建設基金条例の制定

町営住宅建設の促進を図るため基金を設置する。

※町道路線の認定及び廃止について

- ・青木東坪線
- ・左近橋熊坂橋線
- ・西中東線
- ・国道上野神社線
- ・吉原東用水沿線
- ・上原用水線
- ・松風団地一号線
- ・ " 二号線
- ・ " 三号線
- ・ " 四号線
- ・蛇沢中央線
- ・国道新和沿線
- ・の十二路線を認定。
- ・しようべのま線
- ・袖田スーバー線
- ・運動公園上田線

を廃止

※固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成六年三月二十一日に任期満了になる、後藤正義氏の後任に松田安治氏を選任した。

町政に対する

3月14・15日

# 一般質問

登壇

十三議員

## 町政執行の政治信条

### 基本姿勢を問う

自民党代表質問

佐藤 学 議員

問

町長は、町民の信託を受け、四期町政を担当することになり心から祝福申し上げ敬意を表する。

この快挙は町長の政治手腕に期待し、町の発展を願うあらわれであり責任重大である。

年度当初に当たり四年間担当する町長の政治姿勢、信条を問う。

### 中・長期的な展望で

#### 町政執行

町長

合併四十周年の歴史の中で四たびのご支持を得たのは私が初めてであり、非常に責任を痛感しているところである。

町政執行に当たり常に、中・長期的な展望を見つめながら対応していく。

平成十二年を最終年度とした町総合計画に従い計画的な町政の運用が基本になり、常に自分の足元を見つめることが大切と考える。

### 新年度予算の大綱は

問

歳入面での厳しい状況下で予算編成の苦勞を察し、町発展に大きく寄与するものと期待する。備えあれば憂えなし、財調の取り崩しはやむを得ない措置と考えるとともに、減債基金の取

### 百億円台の積極予算

#### 町民ニーズ等に対応

町長

当初予算では、町始まって以来の百億円台で前年度対比十一・七割増とした。

地方財政計画よりも三・六割

り崩しについても時宜を得たものと評価する。今後は、健全財政を堅持し積極果敢な行政の対応を願うものである。

二十一世紀に対応する児童生徒に対する、教育にかける情熱と、教育立町をめざす我が町の姿勢を高く評価し、総合計画の整合性、自民党提出の十八項目の子算案の要望と大綱を尋ねる。

を上回る大幅なもので、県内三十五市町村中で伸び率が一番である。

中でも公共事業、町民のニーズに応え、又は自民党議員会の要望等を取り入れた積極的な予算編成を行なった。

事業の主なもの、ひばり野小学校の建設、桐山、横山統合小学校の用地買収費、沢スギの問題、道路関係予算を計上致し、健全財政を堅持した。

### 行政改革の

#### 具体策は

問

富山県も組織機構の見直しを検討しており、町も即応する独自主体性を持った組織機構の改革を検討すべきではないか。女性係をどの課に属し、仕事は何をさせるのか。

行政改革の具体策を示された

職員の定数条例は三四三名であるが、実人員数を最大限どうするのか、人員の配置には、適材適所、町民ニーズを的確に把握させ、無理無駄のない職員配置を望むが見解は。

### 機構改革検討委員会設置

町長

町では、若干おくれるが、平成六年度に機構改革検討委員会を設置して九、十月ぐらい迄に



▲上田上飯野線の拡幅改良工事（上野地区）

検討を終わりたい。

定数管理問題については、現在は三三三名中三三四名が実数である。一挙に増員するのはなく労務管理上の問題もあり、徐々に計画的職員の採用を図りたい。

女性係を新しくつくり企画財政課に設置し、女性係長を登用する。仕事は、例えば女性プラン等の作成にあたらせていきたい。

### 抜本的保育所対策は

問

保育所条例の改正が提案され昨年よりも園児が六十名減となっている。

抜本的な保育所対策があるか伺いたい。

### 保育制度の見直し

町長

保育所は、十四カ所で関係職員、保母、調理師等を含めて定年延長の問題等があり実数はあまり大きな変化がない。

今後は、町民のニーズに応じて、例えば障害児保育、一時保育、延長保育、一歳、ゼロ歳児保育も考えていかなければならない。

### 農業会議の設置は

問

町の基幹産業と位置づける農

業は、益々深刻になっている。

今こそ町独自の将来を展望した農業会議を設置し、農家の付託に応える考えはないか。

### 農業委員会で

### 対応できる

町長

町に、農業委員会があり農地転用、流動化の審査を行っており、基本的な農業の方向づけをしている機能である。

今あたらしく農業発展のための組織を設置する考えはない。

### 転作対応

### 平成米騒動対策は

問

転作推進会議、中核農家との語る会等の会議のいろいろな意見等を集約した転作対応を伺いたい。

平成の米騒動、一休町に米がないのか、備蓄米とは一休何なのか。

米の確保に万全な体制で臨むことを強く要望し、町民ニーズに応える米対策について尋ねる。

### 関係機関と協議

町長

今年の転作面積は、昨年より四十四町緩和されている。

米の買い急ぎや買いだめをしなければ、絶対量は十分確保さ

れていると思う。

少なくとも、二百万トンぐらい備蓄をしておれば平成米騒動の問題が起これないと思える。

米の販売については、県などとも十分連絡をとりながら対応していく。

又、高校総体関係のお客さんには、おいしい米で接待することが大切だと考える。

## 国営かん排事業完工 後世に残る記念事業を

町民クラブ代表質問  
竹内 壮 太 議員

に残すべきであるとの見解から、下山芸術の森が、黒部川の水と住民との関わりを考慮に入れた完工記念事業としてレベルの高い、町民に親しまれる施設となるよう考えるがどうか。

### 地域の発展に大きな効果

町長

黒東合口用水は六十年余の経過によって、毎年相当の予算をかけながら改修維持されてきたが、国営かん排事業の完工により、これからの農業用水、生活用水など、地域の発展に大きな効果をもたらすものと考えている。関係の皆様方に心から感謝を申し上げたい。また本町において二発電所が建設され、発電所建設所在地一時交付金九千五

百円が国より交付され、これらを使って下山芸術の森事業を推進したいと考えており、皆さん方の一層の理解と協力をお願いしたい。

### 地方分権

### 住民自治の原点に

問

地方分権が論議されているなかで、資金面の現状を概括的に言えば、県が国の下請けを行い、町が孫請けをしていると言っても過言ではない。そのため三割自治の構図ができあがるとも言われている。

政治の基本に立ち返って、早くこの仕組みを住民自治の原点に戻すべきでないか。見解を尋ねる。



▲墓ノ木憩いの水辺

## 財源の裏打ち必要

町長

国と地方の関係について指摘された下請け、孫請け論について、中沖知事は県と市町村は車の両輪と表現しておられる。

私も上下関係ではなしに、横並びの関係だと理解している。市町村というのは、住民の皆さんに接する末端行政ではなく、最先端の行政であると言う意識をもつべきだと考えている。

財政的な面で国や県に町村が大きく依存している実態を、地方分権のなかで権限や機能の委譲だけではなく、財源の裏打ちもなしと真の地方分権は成り立たないと考えており、機会あるごとに強調している。

## 転作、他用途米

### 新年度対応は

問

転作、他用途米の作付けについて、どのように考えているか、農家はその対応に困っている。また消費者の立場から言っても県下の穀倉地帯に住みながら、コシヒカリが手に入らない。本町独自の農業政策は立案できないものか、知恵を絞ってもらいたい。

平成六年度予算では、特別栽培米の導入について、一・八ヘクタール分、補助金三十六万円



▲今年の豊作の願いを込めて（上野）

が計上されている。実施面積、金額など現状を考えると、大担な導入はできないものか、見解を尋ねる。

## 他用途米

### 受け入れ止むなし

町長

転作をしながら一方では外米を輸入するという事態のなかで、農家の皆さんから他用途米の栽培を拒否すればどうかという意見もでてくる。転作補償金カットの問題など十分ご理解いただいたうえで、農家の意見が一致すればそれでもいいのではと考えている。しかし、推進員会議の中では現状の実態から受け入れ止むなしの結論が出されている。備蓄米の問題については、食糧管理の負担という視点だけでなく、国民の主食は自国で生産したものを確保するという、農

政上の基本姿勢を国の段階で考えてもらいたいと思っている。

## 農政課長

特別栽培米制度は、食糧事務所の許可を得て生産者と消費者が直接取引できるメリットがある。本町では技術面などの関係から栽培農家はないが、関西などの消費地では入蓄米の評価も高く、直接消費者にもらえないかという声もでてくる。新年度では実証田をつくり栽培を行うことにしている。

## 保育所統廃合の検討は

問

巷では小学校統廃合も目処がついたところであり、次は保育所について検討すべきとの意見がある。その考えがあるか伺いたい。出生率の低下によって、保育所ではピーク時の五、六割の入所率が現状である。民間施

設では、危機意識をもって延長保育、祝祭日の保育などニーズに応じておられる。保育所運営が硬直化しないよう時代に対応した取り組みが必要と考えるかどうか。また保護者負担について、税制上の問題から不公平感もあり、ある町では一律の保護者負担を実施しているとも仄聞するが実態はどうか。

## 統廃合、今後の課題

町長

保育所の統廃合については、現状で収容能力を大きく割りこんでいる実態もあるが、地区の皆さんの感情的な問題や、保育所の位置という特殊性を考え、検討は行っていない。保育的な面、教育的な面を考慮に入れながら、子供の幸せを視点に、今後の検討課題と考えている。

保育所は人間形成の中に占める役割は非常に大きいと考えており、ゼロ歳児保育から障害児保育、あるいは延長保育、一時保育など町民のニーズに合わせた形で努力している。

保育料の一律負担については、現行法令上できないと理解している。

## 資金運用の在り方は

問

今日資金運用ほど難しいものはないと思っている。

景気浮揚の一環として、かつてない低金利施策が実施されており、時代の移り変わりとともに、基金制度が増加することは大局的な視野に立ってみると、時代に逆行しているのではないかと感じられる。資金運用の在り方について考えを尋ねる。

## 将来展望に立った

### 効果的な活用大切

収入役

一般会計を中心とした資金運用については、収入額、支払いの時期など十二分に見込みをたてながら、短期、中長期的に安全有利な方法で運用を図っており、町財政の一助になればと考へ努力している。

預金利子収入の状況は平成三年度四千万円、バブル崩壊後の四年度は一千五十五万円に急減している。

また財政調整基金を初めとした基金は、今年度新規に創設する下水道基金を含めて十五の基金になるが、残高は総額三十五億六千九百九十九万円と見込んでいる。基金運用による利子収入は三年度二億九千二百四十四万円、四年度二億三百九十四万円となっている。低金利時代とはいえず、財政調整基金などは、充当先や将来展望に立った効果的な活用が大切であり、安易にこれを取り崩すべきでないと考えている。

# 町農業の将来像 農政の基本は

五十里 隆 章 議員（自民）



▲入善特産チューリップ摘花作業（上田）

## 地方の時代

## 広域合併は

大林 政 雄 議員（自民）

### 正常な基金管理

町長

条例にのっとり基金管理を図っていくのは当然である。議員各位のご理解とご協力を得て正常な管理運用を図ってまいりたい。

### 企画財政課長

一般会計に属する基金が十二基金、特別会計三基金合計十五基金がある。

基金の目的、活用方法が異なるので統合運用は難しい。

問 近い将来、地方の時代の実現は必至とみられるが、どのように見通しておられるか。  
地方拠点都市の地域承認を受けるため、新川広域圏が最もふさわしい地方自治体として結論付けられるのではないかと、地方自治の将来性を考慮し、広域合併の考えはないか。

### 個性あるまちづくり

町長

個性ある自治体、地域の歴史や風土を尊重しながら町づくりを考えている。

新川広域圏の事業はさまざまな分野に広がっていくべきだが、広域合併は最善とはいえないと考えている。

### 財政調整基金の

### 目的と運営は

問

基金等を整理統合し、増額、拡充を図り基本的な目的を達するよう、健全な財政運営を乗せるべきと考えるが、いかなる手段を講じるか尋ねる。

問

町長は、国の新農政プランに基づいて大規模農家の育成が急務との認識を示された。

農業経営基盤促進のための基本構想づくりに今後どのような内容で、取り組まれるのか町農業の将来像を尋ねたい。

### 国際競争力のある稲作を

町長

新農政プランには、大体十戸ないし二十戸位の規模の農業を中核にして経営し、低コストで国際競争力のある稲作を考えるのが、基本ではないかと理解している。

町の農業は、兼業農家の上の中核農家を中心とした農業を発

展させることが、一番長続きする経営の形ではないかと考えている。

県や国の補助事業の実施、また、JAの皆さんとも協議しながら対応したい。

### 転作対応と

### 特産品の育成策は

問

本年の転作がらみの諸問題と特産品への対応をどのように考えているのか。

### 転作問題前向きに対応

町長

転作の問題については、三年か五年位に固定化の方針を決め

て、俗に言う猫の目農政にならないような形が大切だと思っ

ている。  
町の稲作、転作、他用途利用米等の基本問題は、国、県の段階で決定され町の裁量の中において対応できるものは、全体に占める割合は小さいものである。

しかし、対応できる問題については前向きに取り組みたい。

球根、キャベツ等の特産物栽培農家だけが努力するのではなく、地域、町全体の農民、関係の皆さんが英知を絞って対応しなければならぬと思っている。

多くの困難な問題を抱えているが、意欲のある皆さんには十分協力したい。



▲完成した水の小径

# 女性係新設に伴う 行政推進計画は

東 狐 和 議員（町民ク）



▲老人保健福祉計画がスタート

問

新年度から県内町村に先がけ女性係の新設が決定されたが担当セクションとスタッフ、婦人団体と連携をどう図るか。町民の行政参加や意識の啓発など取り進む方向や予算をどのように講じられるか。結婚難は深刻な社会問題であり、この問題解決に農協の結婚相談員制度などと連携して、役場OBや教員OBなどに委嘱する考えはないか。

女性係と  
十分な連絡を

町長

女性係は企画財政課内に配置

し、女性の職員をあてたい。

女性に関する問題を総合的に解決、施策の企画調整を行う。女性プランの策定、各課や、各課にまたがる女性に関する施策の調整及び推進を図る。その為、一定期間、研修派遣をする。役場のOB、教員のOBは人的な交流は豊富であり、期待できると思うが、行政などが余り立ち入るのはいかがなものか。OBがボランティアの形で行うのは賛成である。

老人保健福祉計画  
在宅介護を問う

問

今年市町村や県が策定を進めてきた老人保健福祉計画がスタートするが、在宅介護の現状と改善点を尋ねる。

地域全体で  
体制を整備

町長

豊かに老後を過ごせるよう体制を整備するのは行政などにも与えられた大きな責務である。老人介護を家族、地域全体でやっていくことが大切だと思う。

在宅介護労働力の確保

問

要介護老人の看護の開放を図るためマンパワーの確保が早急に必要ながどう対応するか。

介護は共通の問題

町長

マンパワーの確保については、多くの課題を抱えており、十分介護学習なども開設し対応したい。

環境教育事業推進対応は

問

今年八月に全国高校総体が開催されるが、総合体育館までのアクセス道路に沿って花いっぱい運動を展開してはどうか。

環境教育プランに基づいて子供たちと保護者、地域住民、婦人団体、ボランティアなど町民挙げて協力することが必要だと

思うが対応は。

開催地PR

絶好の機会

スポーツ振興課長

競技を無事終了することが一番大事であるが地元PRには絶好の機会である。

入善駅前から中央通り線、水の小径をメイン道路とし、草花装飾をやりたいと考えている。

また、約千五百のフラワーポイントを考えており、この栽培育成、管理については現在入善高校の農業科やフラワーセンターの皆さん方に協力をいただいている。

## 北陸新幹線建設

### 環境保全対策は

早川 誠一 議員（自民）

どうか。

住民の要望に対応

関係機関と協議

町長

新幹線建設に対しては、議会の皆さんとも十分ご相談を申し上げた結果、不意ながら、涙をのみ、在来線の第三セクター化を県当局に意思表示をした。

我々人間は自然環境を原点に、それぞれ生活基盤を作り、環境の恵みのないところに人類、町の発展も望めないと考える。北陸新幹線建設と今後の環境保全対策について、どのように受けとめ、進めるのか町長の基本姿勢と対策、更に新幹線高架下の利用計画についての考えは



環境保全対策については、騒音・水質汚濁・振動・電波障害等が懸念されるので、十分地元の要望等を聞いて関係機関と協議し対応する。

高架下の利用については、完成後鉄建公団等と協議し、事情がゆるせば駐車場又は農業機械等の駐車場所に考えている。

### 農業の基本政策は

問

町長は常に町の基幹産業は農業だと表明しておられる。

現在の農業は、兼業農家中心の状況下において、今後の農業基本構想について町長の考えを問う。

### 農家の階層的な育成

町長

私は新農政プランの中でのべている中核・専業農家を育成することは、理想的な目標であって現実的に実現は非常に困難である。

町は、兼業、中核、専業農家等の階層的な育成の要求に応えるような形で農業の発展を考えている。

### 商店街の再編計画は

問

早く商店街の再開発計画を策定し、中央通り線の早期完成と

新しい街並みを求める町民の声が大きくなっている。その実施設計、建設年次等について概要を尋ねる。

### 地区更新計画を策定

町長

中央通り線というのは単なる線の開発ではなく、これを基本とした面的な開発である。

市街地の再開発、地区の更新計画等の概要は完成している。

行政と商工関係の第三セクターで対応することに、前向きに取り組むが、事業の主体は商工業者の皆さんであると考えている。

### 都市計画課長

地区更新計画は、平成三年度で駅前から八号線の間、あるいは東側、東町線から県道魚津生地入善線の西町三叉路あたりの土地利用十一号で、平成五年度で集約したものが南町地区再開発基本計画策定事業である。



▲整備予定の中央通り線

## 環境基本法施行 本町の対応は

本多幸男 議員（町民ク）

めの調査、研究、情報の提供が大切であると考えている。環境を保全してよりよい環境を子孫に残すことが現代に生きる我々の責務と考えている。

トリクロロエタンなどの有害物質の検出問題については、一層行政指導を強化して、町民の命と健康を守るということには力を入れて参りたい。

### 出し平ダム試験排砂の対応は

の対応は

問

黒部川の清流は、建設省が実施した平成五年度水質調査で、清流度日本一と判定された。

町の将来像を水にテーマを求めている我が町として、金銭で買えない自然をどのようにして後世に伝えるか、行政の間われるところである。

二月二十八日出し平ダムの試験排砂が実施されたが、排砂影

響検討委員会にどのような方針を持って臨まれるか、町の対応策を尋ねる。

### 真摯な立場で臨む

町長

クリーンエネルギーを確保するという観点では、非常に公共性の強い事業であり、流域住民としても出来るだけ協力して行くということも必要である。

問題はダムの維持管理の在り方であり、増水時における排砂など適期の対応を逸した結果であらうと考える。六月頃に出される調査結果をもとに出し平ダム排砂影響検討委員会が開催されるが、真摯な立場で臨みたいと思っている。

平成十二年には、同じ排砂方式の宇奈月ダムが完成すると、このダムの管理にも大きな影響が考えられ、十分関心をもって行くべきと考える。

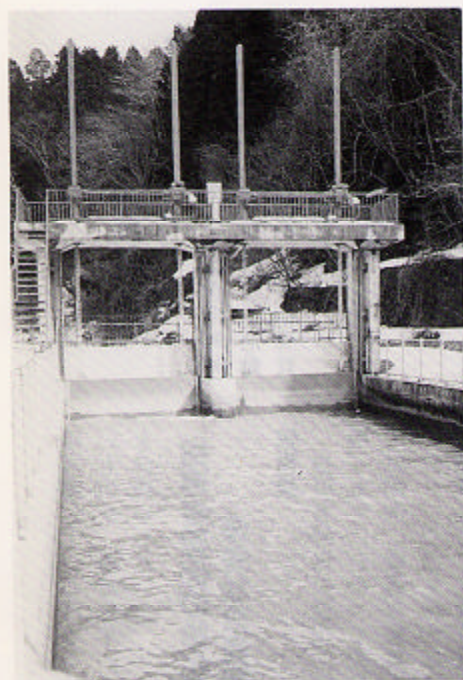
### 行政指導を強化

町長

環境基本法の施行については、公害などが発生しない先に対応することが大切であり、そのた

豊富な水資源を最大の財産とする我が町として、環境基本法を生かすためにどのような受けとめ方をすべきか。

自然界に存在しないトリクロロエタン等の検出に対し、どのような対応で臨まれるか。



▲試験排砂（合口用水）

## 水博物館基本構想は

問

町長提案理由で示された水博物館の構想は、水をキーワードにする我が町として先人の遺徳をしのび、二十一世紀のまちづくりを進める上で時宜を得た企画であると考えます。基本構想を尋ねる。

## 水をキーワードに

### 地域の発展考へる

町長

黒部川扇状地における地理的条件、川との関りの歴史、湧水群、国営かん排事業の完了など総合的に考え、県の補助、関係業界の協賛などいただいで水博物館を建設したいと思っている。

水に関する全県的な資料、黒部川を中心にした資料、あるいは水をキーワードにして、入善町、富山県全体をどのように発展させるかといったことをテーマにしたいと考えている。

## 武道館

### 水泳プールの建設は

問

総合体育館はオープン以来一年で十万人の利用と盛況である。

町の総合計画に基づく、武道館、水泳プールの建設をもって文字どおり総合体育ゾーンとなるわけだが、今後の計画はど

うか。

## 練成館建設

### 合宿施設含め検討

町長

現在の練成館は建設後相当の年数を経過しており、また利用者の増加、入善警察署の利用などから手狭となっている。将来は総合体育館に隣接して練成館の建設、あるいは合宿施設の問題も含めて検討したい。

またプールの問題については利用者の飛躍的な増大など状況の変化などを考慮しながら、将来の問題として考えている。

## 高校総体受け入れは

問

昨年、財団法人入善町体育協会が設立され、また県のスポーツ派遣主事の引き続き受け入れ、

高校総体係新設、二〇〇〇年度の誘致と競技力向上など積極的な取り組みや、高校総体、扇状地マラソンの予算付けなど、

町民ニーズに応える姿勢を評価するが、高校総体の受け入れ体制は万全か伺いたい。

## 新年度から随時対応

### スポーツ振興課長

入善、朝日ではバレーボールが開催されるので、現在総合体育館の一室に朝日町との合同実行委員会を設置、県下高校のバレーボール関係の先生、入善高校、泊高校の高校推進委員会、両町の職員で編成、準備を進めている。

役員編成、競技会場、会場設営の準備計画、式典関係、その他多岐にわたる準備があるが、三月中旬に基本計画をたて、新年度から随時対応して参りたい。



▲入善・朝日高校総体合同準備室

## 体育指導員

### 活動の現況は

問

町が委嘱している体育指導員は、本来の目的に合致した活動を展開しているか、体育指導員の現況について尋ねる。

## 企画運営に比重

### スポーツ振興課長

町の体育指導員は現在三十六名が任命されており、うち女性八名である。

役割については、従来町民に對するスポーツの指導、助言を行うことが中心であったが、その後生涯スポーツ事業の企画運営に比重が移ってきている。事業に對する参加状況では、年間五、六十回の指導員もあり、それに報いる手当など十分に対応できないが、ボランティアとしての誇りと生きがいをもって取り組んでいただくよう努力している。

## 指導者確保対策は

問

スポーツ少年団と中学校の部活強化については、指導者の時間的なゆとりと精神的な情熱が不可欠と考えられる。

おりしも教員の異動時期であるが、指導者確保対策として、本町住民の先生でスポーツ振興

に貢献していただける妙案はないものか、熱血先生のスカウトをお願いしたい。

## 指導者確保の強化

### 優秀な教員配置

教育長

指導者確保の強化については、四、五年にわたって教員人事等で計画的に優秀な教員を配置しており、児童生徒の競技力向上に熱意をもって取り組んでいただくようお願いしている。また体育協会とも連携しながら、指導員の協力をいただいで小、中学校一貫した指導体制を確立するよう支援していきたい。

## 地方交付税算入は 地方財政圧迫になる

九里郁子議員(共産)

戦後最悪と言われる不況の影響で財政収入の落ち込みは大変深刻である。

住民税減税の影響で、九十三年度比マイナス五・三割、地方交付税は〇・三割の微増にすぎない。

国保事務費の負担金等、一般財源化して地方交付税算入とし、実質国庫補助の削減により町に負担転嫁されている。

約七十五割相当の地方交付税算入では、地方財政の圧迫の負担補てん策を政府に強く要望すべきと思うがどうか。

### 財源確保に努力

町長

減税補てん債の問題等については、これは借入れ額ではなくして町税の実際の減取額に対して元利償還の七十五割を交付税の対象にするもので、残りの二十五割も全部含めて対象にするように努力すべきだと激励をいただき、非常にありがたく思っている。

今後は、財政確保のために町村会等の活動を通じて一層の努力をして参りたい。

### 緊急融資など

#### 町独自の不況対策を

問

不況が一層深刻になってきている現在、中小零細業者をはじめ、全町民の緊急で実効性のあがる不況対策であるが、例えば、小口事業資金の超低金利の据え

置き、返済期間の延長、緊急融資事業の創設、勤労者等生活資金融資事業の創設等の有効な対策を町独自で実施する考えがあるかどうか。

### 不況打開

#### 融資預託金の増額

町長

平成四年十二月から平成不況対策相談所を商工水産課に設置し対応している。

平成六年度で特に、中小事業者の経営安定対策として低利で長期の有利な条件で借入ができる、融資預託金を大幅に増額を図り対応したい。

### 排砂問題

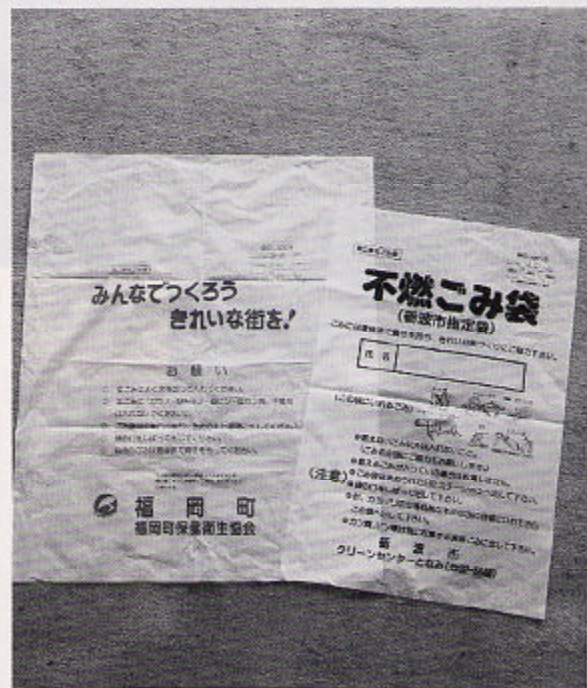
#### 三年前の調査結果は

問

三年前の十二月、関西電力が世界で初めての排砂式ダム、出し平ダムの四十六万立方メートルともいわれる排砂を行い、黒部川本流をはじめ、河口から県境の海岸域がまさにヘドロ状の土砂と有機物によって汚染された事件後、二年間の調査結果はどのようなになっているか。

その後、設置された出し平ダム排砂影響検討委員会が去る二月二十八日、五万立方メートルの試験排砂を実施したところである。

町の、今回の調査は何に主眼



▲他市町で使用の半透明指定袋

をおいて実施されたのか、調査と検討委員会はいつまで続けて行くのか、町民に対してどのような形で公表するのか。

### 職員が現場で立入調査

#### 追跡調査は継続

町長

町では、職員を配置し試験排砂に伴う、臭気、水質、水性植物への影響、ヘドロの堆積の問題等を見て調査したり、特に、地下水等どのような影響があるか調査を行なった。

前回の排砂に伴う、ヘドロの問題で、一定期間地下水や湧水が少なくなるという影響があり、今後は追跡調査を実施して対応

したい。

### 半透明の指定袋で ごみの減量が進むのか

問

九十五年度から実施を予定している半透明の指定袋でごみの減量が進むという明確な根拠があるのか。

### 新川広域圏で指定

町長

新川広域圏で透明、半透明のごみ袋を指定して実施するものである。

どのような効果があるのかどうか実施してみなければわからないが、採用している先進地に

おいては、二、三割位減量されていると報告がある。

町民には、経済的な負担になるがごみの減量に協力していただきたいと考えている。

### 幼児医療費は

#### 医療機関の窓口無料化に

問

乳幼児の医療費無料化は、四月から〇歳児に続き二歳未満児の医療費助成制度を新設されるが、対象年齢を三歳未満まで拡大できないか。

役場の窓口で申請する償還払いはなく、医療機関の窓口無料化とする考えはないか。

### 三歳未満児の無料化

#### 段階的に引き上げ

町長

町は、順次引き上げる方法で対応していく考えである。

医療機関の窓口無料化については、今後は県下の実施状況を調査していきたい。

### 減反・他用途利用米の

#### 強制をやめ農業保護

問

国産米の安定供給と輸入米の安全確保は国民に対する政府の緊急かつ重大な責任である。

ブレンドせず国産米と輸入米を別々に販売すること、検査結果を消費者に明らかにすること

等関係機関に強く要請する考えはないか。

政府は、減反も他用途利用米も強制ではないと表明しているが、町も農家に減反や他用途利用米、特別調整米の押しつけしない考えはないか。

米のゆとりある需給計画の策定と減反の強制やベナルティーを大幅に緩和するよう国に要求する考えはないか。

### 他用途利用米は

政府買い上げ米と  
同価額に要請

町長 優良品質米の生産基地としてコシヒカリ等のおいしい米を食べるのが一番理想と思っているが、四月、五月ごろには米が店頭に有り余る程というような状態がくるかもしれないので、ゆとりをもって対応する必要がありと考えている。

転作や米の自由化の問題については基本的には反対であるが、町は、特産物の確保のために三〇〇から三五〇おの転作等が必要であると考えている。

特に他用途利用米については、政府買い上げ米と同価額に引き上げるよう機会を見て強く関係機関に要請していきたい。

### 保育所給食は

国産米で

問 九十四年度の保育所給食は、安全でおいしい国産米の必要量確保に全力を尽くす考えはあるか。

### 関係機関に協力要請

町長

保育所の三歳児未満の子供達の米の確保には、量的には少ないので、食糧事務所や農協、農家等に協力をしてもらい、全力を尽くして提供したい。

## 基幹産業である

## 農業の発展策は

西尾 政 巳 議員（自民）

問 平成の米騒動と言われるくらい、米に関することが報道されている。

神武天皇以来、歴史的に見て不作の次の年は、大豊作であった年はなく、今年の天気の良い長期予想でも日本の穀倉地帯の東北地方は、冷夏であると予想が出ている。

町は今年の子想をいかに判断され、どのような政策で対応されるのか尋ねたい。

### 中核農家・営農指導員

十分連絡をとり対応を

町長 農業を巡る情勢は、非常に厳しい。



▲学校給食（上青小学校）

基幹産業と位置づけている本町は、町政上の大きな今日的課題だと受けとめている。

町長 農業共済組合が、新川広域圏規模で合併、あるいは近い将来新川広域圏規模でのJAの合併問題が想定されている。

町長 農業問題・文化芸術など含めて広域的に

### 農協合併の

広域対応の仕方は

問

近い将来、農協の合併も問題となるが、広域対応の仕方について町の考えはどうか。

から、町の段階で対応できることについては、精一杯努力していきたいと考えている。

稲作の子想については、実際にどうなるかというのは判断がむずかしいと思っている。

### 学校給食は

富山県産米で

問

平成六年度当初予算の歳出のうち、第六款農林水産業費の米消費拡大総合対策事業費の中で、米飯学校給食良質米供給の補助金が組み込まれているが、成長期の子供のことを考えるとタイ米の輸入が使用されないか不安であるが町の対応を問う。

### 給食用の

コシヒカリを確保

学校教育課長

学校給食良質米普及事業により、県の計画では、平成六年度中は、富山県産のコシヒカリを使用し、給食用の米は確保されるものと考えている。

### 日本型食事

食文化の継承を

問

最近の学校給食は、肉を使った料理が目立つ、いわゆる欧米型食事になっていないか。

日本人であるから日本型食事に誇りを持ち、食文化の継承の考え方を取り入れていただきたい。

いが町の考えを尋ねる。

### 学校栄養士一人配属

### 学校給食の充実化

### 学校教育課長

指摘の肉給食は、世界の国々の食事を経験するために実施したものである。

年間を通して見ると米食をた

くさん取り入れており、日本型の食生活のよさを見直し、できるだけ取り入れるように努力していきたい。

平成五年四月から栄養士が一人配属され、二名の県栄養士の方と協力しながら、町教育委員会としてより自主的な学校給食の充実に努めてまいりたい。

## 財政調整基金減少

## 行政経費の節減は

松沢孝衛 議員（自民）

問

平成六年度一般会計予算は、五年度当初予算に比べて百十七億、百三億八千二百万円の大増予算となった。景気低迷の続く中で景気上昇の一助になればと評価する。

しかし今後の総合計画を進めるに当たって、事業の大きな財源となる財政調整基金は、六年度末で三億三千六百万円と減少する。今後若干の積み立てがあったとしても、統合小学校などの大型事業に処置できるか心配される。行政経費の節減について尋ねる。

### 少ない経費で大きな効果を

町長

総合計画の推進に当たって、財政調整基金も取り崩せば少なくなるわけで、五年度末基金残高では十億余りであるが、六年度で六億五千万円を予算計上している。税収が伸び悩むときこそ、基金の取り崩しによって、計画行政の推進に対応できたものと考えている。

ご指摘の行政経費の節減については、少ない経費で大きな効果を上げるよう対処して参りたい。

### リストラ委員会設置

### 基本的な考えは

問

フラワーセンターの六年度予算は一千六百四十九万円の経費を要する。センターの目的は公園や施設に対する緑化木、花苗の供給であるが、花苗を買ったほうが効率的でないか、生産の状況を尋ねる。

またリストラ委員会を設置されたが、基本的な考えはどうか。石川県の吉野谷村では、年間十万人の観光客が訪れている。投資効果の上がるような施設にしないと経費のみが目につくがどうか。

### 関係施設が老朽化

町長

フラワーセンターは建設後十八年を経過し、関係施設が老朽化している。このような実態に即してフラワーセンターリストラ委員会を発足させ、今後どのような形で対応していくか検討をしている。

センターの存在については、効率的な花苗の供給面だけで判断するのではなく、町民の皆さんに花に関心をもっていたり、心豊かな生活を送るというプラスの面もあると思っている。ご指摘の採算性、経済性については十分受けとめて対応したい。

### 農政課長

花苗、鉢花の生産については春用、夏用など四万ポット、球根四千球、鉢花四十四種、五千鉢を生産、いずれも公園、保育所、学校、施設など百二カ所に供給している。

### 住民票など自動交付は

問

住民票あるいは印鑑証明など磁気カードで自動交付できないかとの要望がある。他県の市町村では既に実施されているところもあると聞いている。日曜、祭日、夜間でも交付でき、住民サービス、事務改善にもつながると考える。

しかし一方では印鑑証明の偽造など犯罪も発生しており、防止対策に工夫も必要となっている。本町の実態と今後の対応について尋ねる。

### OA機器の導入

### 正確、迅速な対応

町長

OA機器の導入によって、正確、迅速な対応ができるよう一杯取り組んでいる。犯罪につながるような問題は幸いにして発生していないが、ご指摘の防止策として特殊用紙の使用も検討して参りたい。

### 個人情報の保護に

住民課長

住民票、印鑑証明、戸籍謄抄本の申請など、一日平均二百件余りの業務を処理している。これらの処理に当たっては法令に基づいた交付、個人情報の保護に万全を期している。

自動交付の問題については、今後国と協議しながら検討して参りたい。



▲リストラ委員会で検討されるフラワーセンター

## 資源回収の高齢者の活用は

問

ごみの減量化、資源の再利用化などについてどのような対応をしているか。

回収資源の再利用事業について、高齢者対策の一端としてシルバー人材センターの活用はどうか。

## 空缶処理業務委託

町長

シルバー人材センターの組織活用については、平成六年四月から空缶回収機で回収された空缶について処理業者に委託をするような仕事をシルバー人材センターにお願います。新聞紙、古紙などの収集業務については、これからの課題として検討して参りたい。



▲シルバー人材センター作業前の準備

## 政治姿勢と 選挙のありかた

福 沢 憲 一 議員 (自民)

問

町長の政治姿勢について尋ねる。  
町長選挙を通して、業界の代

理競争との噂や、最近の入札や業者の指名において差別があるという町民の声を聞くが、どのように受けとめどう対処されているか尋ねる。

## 町政執行は

清潔公正・ガラス張り

町長

私は十二年間の町政執行にあたり、常に清潔公正、ガラス張りの町政を実施している。

指摘の、不信に思われるような事実関係が決まないと確信している。

## ひばり野小学校建設

継続費補正内容は

問

ひばり野小学校建設について、入札直後から町長選挙に絡み低価格で入札せざるを得なかったという噂がある。

継続費の変更補正分は、発注前の全体設計の中に含まれていたものか、発注後に追加されたものか、また、補助対象が単独事業か尋ねたい。

## 舟見・野中地区建設委員会

で十分協議

町長

ひばり野小学校の建設にかかわる問題で、業界でいろんな噂があるとされているが、私は聞いたこともないし、約束をし



▲開校をめざすひばり野小学校

た覚えもないが今後は十分配慮して参りたい。

学校教育課長

建設につきましては、舟見、野中地区建設委員会です十分協議をして当っている。

継続費として、議決したもの

が十二億四千二十万円である。内訳は設計委託料、建築主体工事電気設備工事費等である。

残り未発注分として、外溝工事、備品、事務費であり、補助対象は、校舎体育館の工事費である。

## 水博物館構想

## 関係方面と検討を

広 瀬 喜代志 議員 (自民)

問

町長は今議会において、水の大切さを主張され、水博物館構想を今後の検討課題に上げられ

た。高い評価をされるとともに、一つの町としての事業ではなく、黒部川沿岸市町として検討すべきと考える。

今後とも沿岸住民として、背負っていかねばならぬグムの排砂問題からも、抽象論ではなく関西電力、宇奈月グムの建設省など関係方面と、真摯な立場で前向きに検討すべきと考えるがどうか。

### 町政発展の課題

町長

黒部川扇状地の大部分を占める本町として、黒部川との闘いの歴史、あるいは明治十六年石川県から分県した原因ともなった富山県の治水対策、本町出身の米沢紋三郎などが中心となつて分県したことなど、富山県の水との闘いの歴史を収集して、県民の皆さん、あるいは黒部川流域の皆さんに理解を深めていただくことが大切であると考えている。またご指摘の宇奈月グム、あるいは黒部川と関わりが深い関電、北電などのご協力もいただきながら本町に博物館をつくるということが町の発展、あるいは富山県政全体としても取り組むべき課題と考えている。

### 期待される行政マンとは

問

社会生活は働くことを主体とした考えから、ゆとりを中心とした考えに移行する現況において、行政の方向も変化して来た。行政のリーダーはどうあるべきか。

きか大きくクローズアップされる時代となっている。

町長は常に新しい政策についての実行力は抜群であり、積極的な町政への対応は見事であるが、職員の業務に対する取り組み姿勢、意欲はどうなのか。期待される行政マンとして、町政発展の視点をどうとらえるか尋ねる。

### 明日の時代を切り開く

#### 情熱と学習に期待

町長

今日的な行政課題として、地方への分権、あるいは画一的な行政から多様化する行政、個性のある行政が強く求められている。中央官庁からのお任せ行政ではなく、常に自ら目標を設定する、自らの手で明日の時代を切り開くという情熱と学習の姿勢をもたねばならないと思っている。時代の変化を敏感に受けとめて常に見直しをはかりながら、変化に柔軟に対応して行く姿勢、問題発見能力、処理能力など、期待される行政マンとして努力を怠ってはならないと考えている。

### 女性幹部の登用

#### 必然的な問題

問

高学歴社会になってくると職員採用にも変化が起こり、女性

職員が圧倒的に多くなる一方、雇用均等法による男女平等はもちろん、格差是正でも逐次改善されつつある今日、幹部への登用も必然的な問題となってくる。

しかし現状を見るに男性職員の影に隠れて、リーダーらしき女性は見受けられない。女性問題など今後の大きな課題となってくる中で、職場内における家庭の都合、女性の甘えがあつては地位の向上は望めないと考えるがどうか。

### 女性職員の発奮期待

#### 町長

三百三十名の職員の中で、女性職員が多くを占めており、どのような形で活力を与えるか、あるいは責任ある仕事をやっていただくか、ひとつの課題だと受けとめている。

### 行政手続き法

#### 地方自治体への関連は

問

平成五年十一月国会で行政手

続き法が可決公布された。今後この法律は徐々に地方自治体にも関連をもつてくると思われるが、この法律の意義をどのようにとらえているか尋ねる。

総務課長  
行政手続き法の主たる目的は、行政運営の透明性を高めることを主眼としており、内容としては許認可申請に対する処理の続き、営業免許の停止や取り消しの不利益処分の手続き、行政指導の手続きなどを規定している。多様化する住民ニーズに対応するために法律の主旨を十分理解して対応して参りたい。

### 老人保健施設

#### 建設に支障か

問

社会福祉法人が小杉地内で老人保健施設を建設するというこ

とで、昨年の九月町長が承諾されたと聞いている。しかし最近現在地において建設に支障が出て来たことと聞したが、その実情と対応策はどうか。

町長  
昨年協力依頼があつたとき、老人福祉施設の充足につながるものと考え、建設に協力を申し上げたところである。最近地元で排水処理の問題から異議の申し立てが出ており、関係の皆さんが非常に苦慮しておられ、場合によっては老人保健福祉施設百床の建設見送りのうわさも聞いている。立場を乗り越えて地域の老人福祉対策に力を合わせることができないかと考える。町長として支援できるようなことがあれば努力したいと考えている。

### 排水処理に関係者苦慮

町長

排水処理の問題から異議の申し立てが出ており、関係の皆さんが非常に苦慮しておられ、場合によっては老人保健福祉施設百床の建設見送りのうわさも聞いている。立場を乗り越えて地域の老人福祉対策に力を合わせることができないかと考える。町長として支援できるようなことがあれば努力したいと考えている。



▲名水の里 湧水公苑 (下飯野)

# 各種ボランティア 報奨金・手当の増額

岡 島 功 議員（自民）

**問**  
公民館長、主事、主事補、各学級主事、スポーツ体育指導員等のボランティアにおける手当、ごみの減量等に対する報奨金の今後増額の考えがあるか問う。

## 基本的には増額を図る

**町長**  
隣接の市町村を意識することなく、基本的には増額を図るべきだと考えている。ごみの減量に対する報奨金等は、引き上げの方向で努力したい。

## 環境保健課長

資源回収報奨金制度は、平成五年度よりごみ減量化と資源再利用を目的として開始したもので、現在婦人会、PTA等で二十三登録団体がある。

現在キロ当たり三円の報奨金であるが、今後は資源化のPRと報奨金の充実を図りごみの減量化を考えている。

**スポーツ振興課長**  
体育指導員には、活動の割に

手当が少ないと思っているが、各種委員とのバランス等もあり、今後それなりの評価をしながら引き上げに努力したい。

## 生涯学習課長

館長さんをはじめ主事、主事補の報酬等の引き上げについては、ボランティア的にやっていたでいてるので、報酬の引き上げか、報償的なもので良いのか検討していきたい。いずれにしても大変低い金額



▲ワカメの被害状況

をお願いしているわけ、皆様のご理解をいただきながら、引き上げに努力したい。

## 出し平ダム 試験排砂結果は

**問**  
出し平ダム試験排砂の結果について把握状況と今後の対策の考えを問う。

## 試験結果は六月ごろ報告 追跡調査の実施

## 町長

被害状況は、町の段階で、地下水、湧水、水性生物への影響、匂いの問題等について、職員は調査したが前回よりも非常に少ない量であるので、余り心配したようなことがなかったのではないかと。

しかし、新聞報道によれば龍の中のエワナや内水面等の魚が死滅したり、海面では、ワカメの養殖ロープに泥が付着して生育に支障があったり、定着性の強い魚類、アワビ、サザエ等が大きな影響があったと聞いている。

試験結果は、六月頃に被害状況とともに報告され、被害状況に応じて関西電力が誠意をもって補償に当たるそうである。町としては、十分被害の追跡調査を実施しながら取り組んでいきたい。

# 常任委員会 審査報告

文教厚生常任委員会 3月16日  
総務常任委員会 3月17日  
産業建設常任委員会 3月18日

## ひばり野小学校建設 平成7年度開校をめざして

文教厚生常任委員会  
委員長 西尾政巳

平成五年度から三カ年計画で取り組まれている「住みよい福祉のまちづくり事業」は、二年目を迎え、生活環境改善、福祉サービス、啓発普及事業の実施に入るようでありますが、身体障害者に対応したこれらの事業は公共施設の改善にあたっては内容等は十分に検討され、真に実行あるものとなるよう担当課の努力を期待するものである。

## 分別収集モテル 五地区指定

当委員会付託案件は、議案第七号平成六年度一般会計予算の付託部分をはじめ議案十五件、請願一件、陳情一件で、慎重審議の結果、議案は全会一致、賛成多数で可決すべきもの、請願、陳情は全員一致で採択すべきものと決した。

審査の過程で出された意見を若干申し上げたい。  
一般会計予算総額は百三億八百二十万円で、当委員会の付託部分は五十億十五万四千円で、四十八・五パーセントを占めている。

## 住みよい福祉の町づくり 着実に進行

民生費の社会福祉総務費では、

衛生費では、増大するごみ問題に対応するため「ごみ減量・資源対策協議会」を設置するとともに、限りある地球資源の有効利用を図るための運動を推進するため「分別収集モテル地区」の協力費が計上されていますが、資源、省エネルギー、リサイクル化の運動が全町的なものとなるよう努力を期待する。  
教育費では、ひばり野小学校建設の平成七年度をめざし鋭意整備が進められている。  
懸案の檜山・横山統合小学校用地取得については、地区住民の意見を聞きながら早期取得に



努めるよう要望するものである。

### 「杉沢の沢スギ」が文化庁の 天然記念物整備活用事業

全国第一号に

社会教育費では、「杉沢の沢スギ」が、文化庁の天然記念物整備活用事業の全国第一号として認定され、全国一の貴重な自然遺産であり、これにふさわしい整備をお願いするものである。

幼児医療費の助成に関しては、少子化に歯止めをかけるため、子供を産み育てやすい環境づくりのために、一歳から二歳未満を対象とする引き上げの新設は高く評価する。

しかし、医療費の医療機関窓口無料化に向けて、早急に医療機関と協議され実施を要望する。



▲文化庁の天然記念物整備活用事業  
全国第一号の「沢スギ」

## 当初予算100億円の大台

### 積極的な対応評価

#### 総務常任委員

委員長 竹内 壮太

当委員会に付託された案件は議案七件、請願一件、陳情一件で可決、採択すべきものと決した。請願一件は、審議未了となったものである。

平成六年度一般会計予算、百三億八百二十万円は前年度対比十一・七割の大幅な増であり、当初予算において百億円の大台を超えることとなったことは、記録に留められるもので、当局の積極的な対応に敬意を表する。歳入面では、厳しい経済情勢を反映して、税収見込みにおい

て町民の給与所得は前年比三・九割減、法人税においても前年度対比十一・三割減と企業活動の冷込みも考慮せざるを得ず、期待はできない。

当局においては、税収面からも地場産業の発展と活力町政の観点にたち、特に経済状況の悪いときにこそ、迅速適切な指導性と、できる限りの支援策の実施を要望する。

#### カラー印刷で 親しみやすい

#### 「広報にゆうぜん」

主な事業では、「広報にゆうぜん」は、A四版二色刷りと再生紙利用とイメージチェンジを図ることである。

なお、一層研鑽を積み、親しみやすい広報となるよう期待

し、再生紙利用は資源リサイクル対策として高く評価する。

#### 舟見消防屯所に

#### 〈公衆トイレ〉併設

舟見消防屯所の改築に併せ公衆トイレの建設が予算化されているが、今後の建設にあたり、設計の段階から十分な説明をされるよう付言するものである。

## 町民二一スの高い 生活環境整備の充実

### 産業建設常任委員会 委員長 広瀬 喜代志

町民二一スの生活環境整備の充実。産業建設常任委員会委員長 広瀬 喜代志。町民の最も身近な要望である道路、用排水路等の生活に密着した環境整備は今以上に重要にならうかと考えるわけである。

当委員会付託案件は、議案第七号平成六年度一般会計予算の付託部分をはじめ、議案四件、請願一件、陳情三件で、慎重審議の結果、議案四件は、全会一致で可決、請願、陳情は採択すべきものと決した。審査の過程で出された意見を若干申しあげたい。

#### 経営基盤の強化と

#### 適切な技術指導が重要

農業費では、稲作農業を基幹とする本町農業は、足腰の強い農業を目指すためには、経営基盤の強化対策や適切な技術指導が重要であり、引き続き当局、関係機関の努力を要望する。

水産業費では、つくる育てる栽培漁業については、今後、先進地を見習ってもう少し力を入れるべきと要望する。

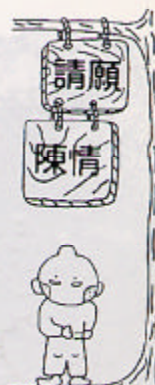
#### きめ細かな対応策

商工費では、景気の動向が不透明な中にあり中小零細企業には、行政の立場で、行える「きめ細かな対応策」を推進していただきたいと願うものである。

土木費では、町民の最も身近な要望である道路、用排水路等の生活に密着した環境整備は今以上に重要にならうかと考えるわけである。

幹線道路改良舗装、県営整備農道事業等、広域的な交通需要に対応する道路体系や、地域開発を誘導する基幹道路の整備を促進し、その機能が最大限に発揮されるよう望むものです。

中央通り線の整備は、市街地再開発プラン、提言等を十分に参考にされ、残された区間の推進に努力していただきたい。



- ★町道高島芦崎四号線の拡幅改良に関する請願 (採択)
- ★消費税率引き上げ反対、消費税の廃止と食料品非課税を求める請願書 (審議未了)
- ★病院給食の患者負担・有料化反対に関する意見書について請願 (採択)
- ★町道高堀―神林線の一部拡幅に関する陳情 (採択)
- ★町道吉原中林線の拡幅に関する陳情書 (採択)
- ★公的年金制度の改善を求める意見書採択についての陳情書 (採択)
- ★食糧と農業を守り農村の活性化を求める陳情書 (採択)
- ★公民館建設に関する陳情 (採択)

### 議員提出議案

- ◆病院給食の患者負担・有料化に反対する意見書
- ◆年金制度の改善に関する意見書
- ◆食糧と農業・環境を守り農村の活性化に関する意見書
- ◆二〇〇海里体制の早期確立に関する意見書
- ◆地方バス生活路線運行維持補

助制度に関する意見書  
町長の専決事項の指定について

勇退する宝田幸雄助役、上田修収入役の後任について追加提案され、新しい助役に前入善町農協常務理事の青木勇三氏(五)、収入役に町企画財政課長の木本隆信氏(五)をそれぞれ選任することに同意した。

●助役 (議会の選任、任命事項)

青木 勇三氏

昭和十年十月三十一日生

入善町荒又三八七

●収入役

木本 隆信氏

昭和十二年七月十四日生

入善町木根一四七

## 議会日誌

### 二月 (きさらぎ)

24日 議会運営委員会先進地

25日 視察 (新潟県)

28日 文教厚生常任委員会協議会

議員全員協議会

### 三月 (やよい)

1日 入善町顧問との懇談会 (富山市)

2日 公害対策審議会

3日 議会運営委員会

4日 国保運営協議会

5日 黒東交通安全協会総会

9日 議員全員協議会

第三回議会定例会(提案理由説明)

10日 議会運営委員会

14日 議会定例会(一般質問)

15日 文教厚生常任委員会

16日 総務常任委員会

17日 産業建設常任委員会

18日 議会定例会(各常任委員長審査報告、質疑、討論、採決)

23日 入善幼稚園創立十周年記念式典

28日 新川森林組合十周年記念式典

30日 新川森林組合十周年記念式典 (魚津市)

### 四月 (うづき)

11日 議会運営委員会

12日 高校総体実行委員会

14日 新川広域圏組合議会運営協議会 (黒部市)

19日 北陸アサヒビール飲料製造㈱竣工式

20日 議員定数等検討委員会

21日 中央官庁懇談会 (東京)

22日 北海道美幌町議会視察

25日 新川地域推進協議会 (黒部市)

26日 広島県府中町議会視察

来町



▲議会運営委員会先進地視察 (柏崎町)

## 編集後記

若草もえる季節となり、田植えも終わり水田一面は緑のじゅうたんを敷きつめた状態となりました。

今夏の高校総体、2000年国体の女子バレーボール競技が町総合体育館を中心に行われ、入善米コシヒカリや名水の里PRの絶好の機会と張りきっています。

議会広報は、議会運営や議員活動の状況を知らせるうえにおいても良い機会であります。

行政側と議員側の発言や行政のしくみを町民の皆さんに知ってもらう事により、責任の重みと、地方政治をより身近に感じてもらい、住民参加の政治に一步でも近づきたいと念願しております。

今後は、さらに研修を重ねより良い紙面で議会の様子を町民の皆さんに伝えたいと考えています。

(M・N記)

議会だより編集委員会

石川 昭男 本多 幸男

竹内 壮太 西尾 政巳

広瀬喜代志 板川 清治

佐藤 学英

(オブザーバー) 若島 信行